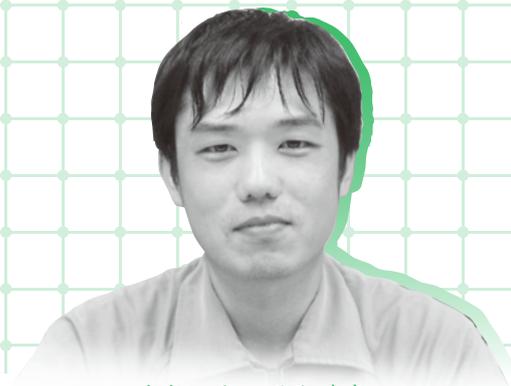


こうほう ショッキング

Vol.52

Kōhō shocking



おおいし ひろあき
大石 宏明さん

●プロフィール

33歳。豊玉町仁位出身、在住。豊玉高校卒業後は電機メーカーの研修センターで研鑽を積み、福岡で1年間の電器店勤務ののち20歳で帰郷。両親と共に家業の電器店を営む。地域の活動にも積極的に参加し、消防団のほか今年度から商工会青年部豊玉支部長を務める。両親との3人暮らし。

○学生時代、続けていたことは？

小学生の時から高校卒業まで剣道をしていました。防具をつけた時のピンとした緊張感というのが好きでしたね。剣道は特に礼節を重んじますから、体力と精神の両方に結びついてくると思います。社会人になって剣道から遠ざかった今も、少なからず影響しているのではないのでしょうか。

○家業を継ぐきっかけなどありましたか？

物心ついた頃から電器店を営む両親を見てきました。重い商品を運ぶ姿を見て、休みの日には配達の手伝いもしていましたね。だから卒業後の進路は、誰に言われるでもなく、両親と一緒に働こうと自分で決めていました。

○お仕事で特に気を配っていることは？

両親の代から「町の電器屋さん」としてご愛顧いただいているお客様もいらつしやいます。家電のトラブルやご不明な点などのご相談には迅速・丁寧な対応を心掛けています。自営業ですから、休みの日にも仕事が入ることもあります。喜んでくださるお客様あつての仕事です。

から頑張れます。

○生まれ育った豊玉の今と昔、変わりましたか？

そうですねえ、僕が学生の頃に比べると、商店街を行き来する人の数が少なくなつた気がして、正直さびしいですね。人の往来は変わりましたが、故郷の風景は変わらないように思います。昔からの海や山、観光スポット…、町自体の雰囲気は昔から変わらず穏やかで、僕自身は過ごしやすいくところだと思っています。

○地の利を生かしたイベントも行われますね。

今年も、今月18日に和多都美神社沖の浅茅湾を会場に「対馬市民ふれあいシーカヤック大会」が開催されます。シーカヤックを体験できる良い機会として、認知度は年々上がつてきていると思います。海から名所を見ることができると、穏やかな入り江で船に乗り、海拔0メートルの景色を楽しめるのも、豊玉町の持つ魅力あつてのことだと思えます。

○商工会青年部の皆さんとも活躍のようですね？

商工会青年部豊玉支部では毎年5月に鯉のほりを多数泳がせ

たり、クリスマスイベントとしてイルミネーションを点灯したりしています。メンバーはそれぞれ忙しい仕事の中、時間を割いて青年部の活動に参加してくれています。今年度から僕が支部長になつたのですが、指示されて動いていた一會員の時とは違い、みんなを指示する立場の難しさを感じ始めています。

“何事も経験”とあって、みんなで一丸となつて頑張ります。

○今後の抱負は？

商工会青年部の活動としては、恒例行事になつているイベントにも何かしらの工夫を織り込んで、地元の皆さんに楽しんでもらえるよう、自分なりに提案し盛り上げていきたいと思っています。仕事に関しても、日々一つ一つを大切にしていきたいです。

毎回、登場してくださつた方にご紹介いただきこのコーナー。次回は豊玉町佐志賀にお住まいの佐伯大輔さんです。お楽しみに。